

米国カリフォルニア州 カンキツグリーニング病検疫規制地域を拡大

[米国農務省動植物検疫局通知 DA-2024-43 2024年11月1日\(4日送信\)](#)

件名: APHISはカリフォルニア州のカンキツグリーニング病(HLB)検疫規制地域を拡大

宛先: 州、部族及び準州の農業規制当局担当官

以下は直ちに発効する。米国農務省動植物検疫局(APHIS)は、カリフォルニア州食品農業局(CDFA)と協力し、*Candidatus Liberibacter asiaticus* によって引き起こされるカンキツグリーニング病(黄龍病; HLB)の同州内の検疫規制地域を拡大する。拡大される地域は、オレンジ郡とリバーサイド郡の約31平方マイルである。APHISは、オレンジ、リバーサイド両郡の住宅地から採取された植物組織のサンプルからカンキツグリーニング病が検出されたためにこの措置を講じるものである。この拡大の影響を受ける商業的柑橘類園地はリバーサイド郡の約3エーカーである。

APHISは、カリフォルニア州の検疫規制地域からの規制対象物品の州間移動に安全対策を適用している。これらの措置は、CDFAが2024年10月22日に定めた州内の検疫と並行して行われる。この措置は、HLBが米国の非感染地域に広がるのを防ぐために必要なものである。

カリフォルニア州の検疫規制地域の具体的な変更内容は、[APHISカンキツグリーニング病ウェブサイト](#)に掲載されている。APHISは、おつてこの変更を連邦官報に掲載する。(連絡先等省略)

(訳注: 1平方マイル=約2.59平方キロメートル、1エーカー=約0.405ヘクタール)

ブラジル 柑橘類地帯の雨が2025年の供給回復への期待をもたらす

[Cepea 2024年11月1日](#)

セペア、2024年11月1日 - 果汁業界最大のオレンジ産地であるサンパウロ州とトリアングロミネイロ地域(ミネスジェライス州の三角地帯)の柑橘類地帯では、10月下旬に通常の降雨と穏やかな天候が記録された。これは、雨不足と高温の影響を受けていた果樹にいくらかの助けとなった。

2024/25年度シーズン - 降雨が再開したものの、現在収穫されているオレンジは低い品質を示している。それでも、10月の雨は、まだ樹上に残っている果実の品質を向上させる可能性がある。今年のオレンジの収穫は6月に始まり、12月または来年の1月に終了すると見られることは留意に値する。タヒチライム(収穫の最盛期は11月から12月の間に始まる)に関しては、現在は果実の生育が標準を下回っているため、気象条件が成熟に有利に働く可能性がある。

輸出 - Comex Stat(ブラジル政府の貿易統計)によると、2024/25年度産のこれまで(2024年7月~9月)のオレンジ果汁の出荷でブラジルの輸出業者が得た収益は合計9億530万米ドルで、前シーズンの同時期(6億3,610万米ドル)と比較して42.3%増加した。

一方、ブラジルのオレンジ果汁の輸出量は、2023/24年度産以来確認されているように、減少を続けている。2024年の7月から9月までにブラジルは20万7,500トンのオレンジ果汁を出荷し、これは2023年の同時期と比較して27%少なかった。

輸出量が少ないことは供給の制約に関係している。悪天候により5シーズン連続で生産が妨げられ、その結果、果汁の在庫が逼迫している。

セペア - サンパウロ大学農学部応用経済高等研究センター